

第 24 回高校生おのみち演劇祭 上演作品

【上演 1】 またここで（広島県立尾道商業高等学校） ★創作脚本賞



（作・尾道商業高校演劇部）

放課後の図書室。出会った二人の生徒が交わすのは、日常の何気ない言葉。しかし、その会話は少しずつ噛み合わず、曖昧に揺れる思い出や記録、積み重なる違和感が静かに真実の輪郭を形作っていく。やがて二人は、自分たちの前にある“何か”を見つめ直すことになる。その先に待つものは――。

小さな演劇部が創り上げた意欲作です。温かく見守っていただけると幸いです。

【上演 2】 Mushloop! ～ゾンビのループが止まらない～ （広島県立三原高等学校定時制） ★優秀賞



（作・今木はなえ）

人は強い、キノコより。

【上演3】 ゆめのはなし（広島県立三原高等学校全日制）



（作・原田あかね）

舞台はとある小さな村。そこに住む内気な少女ミナリは、いつも夢の中で泣いていた。彼女は夢の中にいる人々との別れが悲しくて、寂しくて、涙を流す。

今夜の彼女はどんな夢を見るのだろうか。夢とはいったい何なのか……………。

これはミナリと私が見たゆめのはなし。そして少しずつ変わっていくミナリの成長のはなし。皆さんはかつて、どんな夢を見ました？

【上演4】 賢治エチュード（広島県立三原東高等学校）★優秀賞



（作・油田 晃）

ある日、2人の女子高生、恭子と久美は教室にある穴を見つける。そこで、クラスメイト正裕の死因について知ることになる……

この物語は、宮沢賢治の『銀河鉄道の夜』『猫の事務所』『補遺詩編』などの作品をモチーフにしています。今回、私たちは初めての舞台装置を使います。その演出に注目してください。

【上演5】ZENSHIN!!（尾道学園 尾道中学校・高等学校）★最優秀賞



（作・ハラダサトシ）

皆さん、覚えてますか？2020年2月末から日本でも大問題になった新型コロナウイルス感染症のことを。正直、日常生活があそこまでズタズタにされるとは思いませんでした。当たり前に行われていたコミュニケーションができないジレンマ。大小問わず相次ぐイベントの中止・無期延期、エンタメ全般に対するバッシング、休業要請に一斉休校、自粛警察、アベノマスク（笑）。これら全てのトンデモ出来事は、ホントに悪夢以外の何物でもありませんでした。・・・・・・・・あれから5年。

わたしたちは、もう忘れてしまっていないですか？あの「生き苦しさ」を。そんな簡単に忘れてしまっていないんですか？いや、言い訳がない。間違えた。良い訳がない！だからこそわたしたちは、全身全霊をかけて上演します！！